

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	1人	1人	11人

**前回の改善計画**  
 申し送りをする時間や職員全員に伝える機会が少ない為、業務内容の見直しが必要。  
 ご利用者一人ひとりもう少し会話や関わる時間を心掛け信頼関係を築く中でニーズや必要な支援を探るべき。信頼関係を構築していく為のプロセスは人それぞれの手法や技術もあるが、ある程度の水準がクリアできるよう研修や勉強会なども必要。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 利用開始前にはフェイスシート、手順書は必ず回覧している。ミーティングがしっかり開けていない為、申し送りノートを活用し、支援のポイントや留意点は全職員に伝わるようにしている。しかしながら伝達がうまく行かず抜けてしまうことも勿論ある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	5	4	2	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	1	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	10	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	2	1	11

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ミーティングが毎回出来ているわけではないが、新規利用者の場合は必要な申し送りは出来ている。私達職員を受け入れやすいよう言葉遣い、態度など個々に工夫を重ね関わっている。情報交換ができる場が取れないとしても、利用者、職員困っていることがあれば職員同士で情報共有する意識が以前より高まった。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 現場職員は家族、介護者と話す機会があまり無く、どのようなことが不安に思っているか把握することが困難。ミーティングを行える日が少ない為、細かい申し送りに落ちがある。時間が空いている時に利用者に関わるという姿勢が薄れてきている。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 ミーティングを現在よりも行うことができるよう、少人数でも集まってやるようにする。内容としても必要な情報交換を最大の目的とし、短い時間での効果的なミーティングを目指していく。就業前は記録を読み、必要な情報を自らが獲得をしていくこと。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	5人	2人	11人

前回の改善計画	本人の目標を把握して、理解した上でサービス提供する為に改めてライフサポートプランの目的や考え方について、職員で共通理解を図る。 目標に沿った具体的な活動、実行計画を話し合う時間や機会を意図的に作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議の中でもなかなか目標やケアプランに沿った議論が出来なかった。ライフサポートプランも職員目を通しては基本的な考え方など理解できていない為、共通理解には程遠い結果となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	5	2	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	4	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	4	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	3	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>気になった点はしっかり職員間で自然と情報を共有し解決に取り組んでいる。 あくまで本人が主体であることは意識して家族や職員などの話しを聞くようにしている。 本人が取り組むこと、家族の役割、事業所の具体的な支援ということはライフサポートプランをだけでは分かりにくい為、手順書も活用しより具体的な支援や関わりを記載している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自己主張できない方、認知症の方に対しての目標、ニーズが忘れがちである。 小規模多機能が目指す「本人の～したい」を支えるという部分についての職員研修が行えておらず、何を目標に支援するのかが職員が理解できていない部分がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>本人の目標を把握して、理解した上でサービス提供する為に改めてライフサポートプランの目的や考え方について、会議の中や内部研修として扱い学びを深める。 目標に沿った具体的な活動、実行計画を話し合う時間や機会を意図的に作っていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	0人	11人

**前回の改善計画**  
 日々のミーティングや会議での内容について時間の使い方も含め検討をし、本人の過去から現在、未来までをトータルして「暮らし」というものを考えたり、共有する時間を作っていく。またヒントになるような情報は個人だけに留めず、これからの支援に役立てる為に記録や、口頭でも情報の拡散を図っていく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 利用者の登録人数も上がっていき、訪問サービス等も増えミーティングの時間が取れなくなってしまっている。月に1度の会議でも要点は話し合っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	5	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	0	0	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	10	1	0	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	1	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	3	0	11

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 何か本人が発したり、急を要することはすぐにチーム間で対処が出来る。  
 食事、排泄、入浴等の基礎的な介護はできている。  
 スタッフが利用者に興味を持って色々な情報を集めようとはしている。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 以前の暮らし方についてはフェイスシートに頼ることが大きく、直接利用者から聞いたり、または得た情報が今後の暮らし方に左右するようなことも個人で留まってしまっていることもある。  
 日々の記録に目を通していないことが多い。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 日々のケアについて振り返ることも大事だが、暮らしを知るという面からどんな支援が必要なのか、これからの暮らしを継続する為に何を大事にしていくのか、各々の利用者の暮らしについてミーティングや会議で話し合いができる時間を作っていくと同時に記録からも状況が読み取れるように介護記録には目を通すこと。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	8人	2人	11人

前回の改善計画	このコロナ禍のご時世でもある為、地域の方と直接お会いする機会等を設けることは難しいが、梓川の地域特性を知ることや、併設しているコミュニティスペースにイベント開催で来られた方と少しでも話しをする時間や挨拶などでも良いので接点を持てるように努める。ご利用者に対しては、「知る」ことや「情報収集」することの目的を再認識し、チームでの情報共有の強化に努め、それが支援に活かせるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	相変わらず積極的なイベント開催は出来なかったが、この場所ではしか出会う事がない方もいるので、関係の再構築や断断しないようにこれからも担っていききたい。但し、スタッフとしてコミュニティスペースの活動に関わるといことは出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	3	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	3	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	5	5	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
民生委員や近隣住民、移動販売車のドライバー等、本人に関わっている方に本人の様子を聞き取ることはある。事業所が全て支援しないようなプランを作成している。さんぼみち便りを地域へポスティングしたり、興味をもってくれそうな家族へのイベントの知らせなどをし、さんぼみちを知ってもらう努力はしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人との近所の関係、梓川地区の社会資源も曖昧だが、梓川地区以外の住まいの方の社会資源はもっと分からない。地域との交流が希薄。本人にとっての社会資源や人生で築いてきた関係性のアセスメントが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
「コロナ禍だから・・・」と全て理由にしてしまうのではなく、利用者の生活と密接な地域に目を向け、不足部分が補えるような支援を目指していく。本人の生活スタイル、関係性など分かろうとする姿勢を大事に、本人の活動や参加、スタッフが地域のために出来ることをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	7人	2人	2人	11人

前回の改善計画	スタッフでもう一步「柔軟な支援とは」を考える必要があり、単純に通い、訪問、宿泊を組み合わせることだけではなく、本人の必要とすることに対し、本人や家族から始まり、本人の資源の理解に努める機会を持つようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の気分や体調、家族の環境に合わせて、通いから訪問、宿泊等切り替え必要な支援は出来ていた。「地域の資源」に関しては全くではないが、本人にとって必要なことに繋がられてはいない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	5	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	0	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6	3	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 「通い」「訪問」「宿泊」と家族の急な要望にも以前と比べ対応が出来るようになっている。日々のかかわりから、必要な支援を見出したり、変更が必要そうであれば、ケアマネと情報共有しその方に合った支援を提供出来ることに繋がっている。さんぼみちを利用したことで良い変化が生まれている点についても確認している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ミーティングが行える回数が少なく全体的に情報共有できる時間や機会が限られてしまう。家族の力はフルに借りているつもりだが、地域の人との関りや力をお借りできていない。事業所の職員体制上、サービス調整が難しく受け入れられなかった方もいた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人のストレンクス(強み)をミーティングや会議で確認し合い可能性を広げていく。連絡会による小規模多機能に研修会の案内も定期的にあるので、小規模多機能の理解をスタッフで深めていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	3人	11人

前回の改善計画
地域の取り組みや、団体等の活動やイベントなど何があるのか不明である為、地域の回覧板など職員全員が目を通す。管理者やケアマネージャーのみならずスタッフ全員が地域に目を向け、地域の課題や良い点にも気づけるように、運営推進会議内でも地域の話題や課題、困りごとなどが議題に出るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域のボランティアの方々や年に数回来てくれ、衛生関係やコロナが落ち着いているときは利用者との関わりもあった。管理者、ケアマネ以外が地域の何かに取り組んだり、会議に参加するというのはそうやっていくが課題。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	0	2	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	4	0	0	7	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	0	1	8	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	4	2	4	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 民生委員や法人事業参加者より、地域の高齢者や自身のことについて相談を受けることあり。コロナ禍でもコミュニティスペースのイベントは行っていた。職員の家族や利用者家族がコミュニティスペースのイベントに参加することがあった。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 小規模多機能事業所としての地域との繋がりは極めて薄い。職員一人一人が考えられるような働きかけを殆どしていないことも要因。スタッフにさんぽみちの理念が浸透していなく、地域に目が行かない。何かアクションを起こしていく必要があるかもしれない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナ状況を踏まえ地域の方のボランティアや相談事は積極的に受けていく。また、事業所が地域に出掛けるような機会があれば能動的にさんぽみちを知ってもらえる取り組みをしていく。地域の方が気兼ねなく来ることが出来るよう、日頃からの地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

7. 運営

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	2人	11人

前回の改善計画	運営推進会議ではさんぼみちのことだけでは無く、地域の困りごとなども議論できるようにする。運営推進会議の議事録や内容を不参加職員に伝えていないので議事録回覧や会議等で伝え、さんぼみち利用者以外にも目を向けられるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議は集合開催が1度行えた。議事録の回覧や会議の内容をしっかりとスタッフに伝えていないことから、地域のことを考えるという点では疎くなってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	3	5	3	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	4	2	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	6	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	2	5	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の意見や家族から要望はケアマネからスタッフへと伝え、対応が行えている。満足度アンケート調査を行い、結果についても周知し、改善に向けての取り組みを行っている。小規模多機能というものが他事業所や関係する方々に理解が薄いため、説明や研修会を通し知ってもらうよう取り組みをした。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 運営が管理者任せになってしまっている。さんぼみちが出来て2年目となるが、よりよい事業所へとする為の考えで合ったり地域との取り組みは出来ていない。さんぼみちの利用者としてしか関わることがない。どうやっていくべきか方法が分からない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議(特に集合開催)の議事録は職員へ回覧をし、一人一人地域の課題や困りごと、資源などの理解に努めていく。地域の方が気兼ねなく来ることが出来るよう、日頃からの地域の方への挨拶、付き合いを大事にする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	3人	3人	11人

前回の改善計画	事故や未然に防ぐ予防に関しての意見が多い為、ヒヤリハット報告を日頃から出す習慣を作る。またヒヤリハットに対して予防策が講じられるようすること。リスクマネジメントの研修会も事業所内、若しくは外部等で参加が出来るように組み込む。研修に関しては、管理者から情報提供をし、希望するものに参加できる体制を作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	前回と比べ、利用者人数も増えたこともあるが前年度よりヒヤリハット件数は増えた。重大事故は未だに発生していないが、事故を未然に防ぐための検討等はしっかり成されていないのが現状。外部、内部ともに研修参加率は低い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	2	4	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	4	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	3	7	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	2	5	2	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 報告書が上がった際は再発がないように心がけもでき、周知されている。 職場内研修の参加は出来ている。 県の小規模多機能連絡会にも入っており、研修等には管理者、ケアマネ以外も参加が出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ヒヤリハットが少ない上に特定のスタッフのみ挙げている。 外部研修の参加率が低い。小規模多機能についての研修が行えていない為、役割や機能について理解が深まっていない。 月一度の会議と研修が一緒なので別に設ける等も検討した方が良い。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 外部研修は一人1回参加が出来るようにどんな内容の研修希望があるかを聞き、反映させる。 サービスの質の標準化を図ることを目的に内部研修を現在より充実させるよう計画を立てる。(介護技術、認知症、小規模多機能等重点に)
---------------	---



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 1月 23日 (18:30 ~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 森・坂楨・岩見・大槻・田仲・奥原  
二ノ口・石井・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	0人	11人

前回の改善計画	<p>個人情報の取り扱いについて、事務所、フロアでも外部から目につく場所に置かないようにする、特に利用者名が乗っているタイムスケジュールなどは保管場所を定め、表にして置きっぱなしにしないようにする。トイレへの誘導、声かけは周りを見て、他人に聞かれないよう小声でお誘いをする。プライバシー、人権、成年後見制度は必要に応じて学ぶ機会（研修も含め）を作る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>タイムスケジュールや手順書など利用者名や個人情報が入っている物の扱いが時に目についてしまう場所に置いてあるなど度々あった。 成年後見制度は一切触れていないという結果。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	2	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	4	6	1	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	2	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	4	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>トイレの開閉については殆どのスタッフに意識があり、見えないようにどう対処するか等、話しあったり試行している。 認知症を患っていても職員都合になることは無く、本人本位を目指している。 事業所内で個人情報保護の研修を開催している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>成年後見制度を利用している方はいないが、触れる機会もなく理解はほぼしていない。 利用者の前で他利用者のことや家族のことを気にせず話してしまっている。 トイレの声かけが注意して声をかけるスタッフとそうでないスタッフといる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>トイレへの声かけはその方の尊厳、羞恥心に大きく関わる為、場所、タイミング、声のトーンに配慮をして誘うようにする。 個人情報に関わるようなもの、特に訪問手順書については利用者の目につかないような場所に置くようにし、互いが意識をもつことを徹底していく。</p>	